

各校での非認知能力を育む取り組み 小学2年生 生活科を通じた実践！



No.7

つながる系 山田小

「紙コップを使った遊び」

3～4人グループで紙コップを使った遊びを考案。
体育館にてグループごとにブースを作り、集客・接客をする。2年生同士で練習・リハーサルをおこない、以下の日程で交流した。

- ・10月21日（金）参観日 保護者と交流
- ・10月25日（火）支援学級児童と交流
- ・10月27日（木）1年生児童と交流

企画・立案・実践を仲間と話し合いながら行った。はじめはうまくいかないことも多かったが、様々な対象と交流を経ることで、うまくいくこと、うまくいかないことが明確になった。その都度、グループ内で改善を行った。

自分たちが「おもしろい」と思うことも、相手にとって「おもしろい」ことなのかはやってみないとわからないことに気づき、どうすれば相手に「おもしろい」と思ってもらえるのか時間をかけて考えることができた。



伝える力（気持ち・意見を）

受け入れる力（相手を）

協働する力



中学2年生 太子中 職業体験を通じた実践！

自分と向き合う系



自己調整力
（自分を調整する力）

あきらめない力
（粘り強さ）

自分を高める系



目標を持つ力
（夢・目標を持つ）

挑む力
（やってみる・挑戦）



◇学年：2年生（職業体験）

◇ギミック（工夫したところ）

職業体験で事業所に行く前に、「なぜ働くのか」「なぜ勉強するのか」など、働くことについての実感を持てるように、事前学習として、Panasonicの方に、「働くうえで大切なこと」を直接講演してもらう機会をつくった。

◇効果：教師からではなく、実際に企業で働く方と接することで、「働くこと」に対する実感が増し、より具体的に今何をすべきなのかを考える時間となった。

他者目線に立つことは、つながる上で大切なことです。そこから共感する心も育まれていきますね。実生活とつながる学びは効果絶大です！素晴らしい取り組みですね。

徳留宏紀さん（太子町非認知能力アドバイザー）

昨年度まで大阪府公立中学校勤務。今年度からは岡山大学大学院で非認知能力について研究。